

Spread Auditor Pro v1.00

超軽量 M1スプレッド & 流動性高精度監査ユーティリティ (AI口座診断対応)

MT5専用ツール

1. 開発の背景と本ツールの特長

EAの実運用において、本来得られるはずの利益を最大化し、安定したパフォーマンスを引き出すためには、稼働口座の「取引コスト（スプレッドの動的変化）と流動性」を客観的なデータで正しく把握することが不可欠です。

Spread Auditor Pro v1.00は、稼働口座の真の取引環境と時間帯ごとの特性を24時間体制でロギングし、EAの稼働スケジュールやスプレッドフィルターを最適化するために設計された超軽量監査ツールです。

- 最大スプレッド（ワースト値）に特化:** エントリーや決済コストに最も影響する「1分間の最大スプレッド」を確実に記録。
- 超軽量・ゼロ負荷設計:** チャートオブジェクト描画を完全排除。CPU・メモリ・ディスク負荷が実質ゼロのため、24時間~1ヶ月以上の常時稼働でも端末に一切負荷をかけません。
- 1秒タイマーによる欠損防止:** 深夜や早朝など値動き（ティック）が一時的に停止する時間帯も1秒タイマーでバックアップ監視し、1分たりともデータの抜け漏れを作りません。
- 月別オートセーブ機能:** 月ごとに1つのCSVファイル（約1MB）に自動追記。ファイルが散らからず整理も簡単です。
- 24時間自動停止タイマー:** 「1日（24時間）だけ測って止めたい」場合、設定時間経過後にCSVを安全に閉じてチャートから自動退場します。
- AI（Gemini・ChatGPT）診断対応:** 生成されたCSVをAIに渡すだけで、時間帯別・曜日別の詳細な分析レポートが即座に作成されます。

2. 記録される5つの詳細データ（CSVフォーマット）

1分ごとに以下の5項目が1行ずつ追記されます。

出力項目	項目名	内容と分析価値
記録時刻	Time	YYYY.MM.DD HH:MM 形式（分単位のタイムスタンプ）
最大スプレッド (pips)	MaxSpread_Pips	その1分間で最も開いたワースト値。時間帯別の取引コスト傾向を判定。
総ティック数	TickCount	その1分間の価格更新回数。相場の流動性（活発さ）を正確に可視化。
変動値幅 (pips)	PriceRange_Pips	その1分間の高値と安値の差（値幅）。相場のボラティリティを判定。
警戒閾値滞在数	WideTicks	設定値（例: 2.0pips）を超えていたティックの回数。拡大の継続性を判定。

Spread Auditor Pro v1.00 - Antigravity

【データ活用による最適化メリット】

「早朝ロールオーバー時のスプレッド拡大が何時何分に収束するか」や「流動性が高く最も取引コストが安定している時間帯」を特定し、EAの真の実力を100%引き出すための設定調整が可能になります。

3. パラメータ設定一覧

パラメータ名	初期値	説明
InpWideSpreadPips	2.0	拡大警戒閾値（pips）。この値以上になったティックをカウントします。
InpTargetHours	0	自動停止タイマー（時間）。 0 = 無制限継続 （月別記録を継続） 24 = 24時間（1440分）で自動停止
InpAutoRemove	true	指定時間記録完了時に、EA自身をチャートから自動削除（アンロード）するかどうか。
InpAlertOnStop	true	測定完了時にアラート音・ダイアログで通知するかどうか。
InpFilePrefix	"SpreadAudit"	CSVファイル名の先頭文字列。
InpUseCommonFolder	false	共通データフォルダ（Common/Files）に保存するか。通常はfalse（個別MQL5/Files）でOKです。
InpShowComment	true	チャート左上に現在のスプレッドや記録分数、残り時間をテキスト表示するかどうか。

4. インストールと測定の手順

ステップ1: ファイルの配置

- MT5を起動し、上部メニューの「ファイル」 > 「データフォルダを開く」 をクリックします。
- 開いたフォルダ内の MQL5/Experts/ フォルダに、配布された Spread_Auditor_Pro_M1.ex5 を配置します。
- MT5の「ナビゲーター」ウィンドウ内で右クリックし、「更新」を押すと一覧に表示されます。

ステップ2: チャートへの適用

- スプレッドを測定したい通貨ペア（例: USDJPY）のチャートを開きます（時間足はどれでも動作します）。
- ナビゲーターから Spread_Auditor_Pro_M1 をチャートにドラッグ&ドロップします。
- 設定ウィンドウの「全般」タブで「**アルゴリズム取引を許可**」にチェックを入れ、パラメータを設定して「OK」を押します。
- チャート左上にステータスが表示されれば、バックグラウンド測定が開始されます。

5. 出力ファイルとAI（Gemini・ChatGPT）分析の活用法

CSVファイルの保存場所

Spread Auditor Pro v1.00 - Antigravity

MT5メニュー「ファイル」>「データフォルダを開く」> **MT5/Files/** フォルダ内に保存されます。
ファイル名形式: SpreadAudit_[通貨ペア]_[西暦年月].csv (例: SpreadAudit_USDJPY_202610.csv)

AIへの分析依頼方法

記録が終わったら、そのCSVファイルをAIにアップロードし、以下のように指示してください。

「このスプレッド監査CSVを分析して、時間帯別の平均最大スプレッド、早朝の拡大時間帯、およびこの口座でEAの利益を最大化するための推奨稼働時間フィルターをレポートしてください。」

AIが内部でデータ解析を実行し、**口座の最適稼働時間帯の特定や、EAのスプレッドフィルター最適値を瞬時に導き出します。**